

## 平成23年度全国専門学科「情報科」研究協議会（群馬大会）

太田市立商業高等学校教諭 大河 義則

平成23年度全国専門学科「情報科」研究協議会が平成23年8月22日（月）・23日（火）に群馬県の太田市立商業高等学校を会場に開催された。この研究協議会は、全国で専門学科「情報科」を設置している学校が中心となり、毎年持ち回りで開催されている。平成15年度に第1回が開催され今回で9回を数えた。

今回は各学校での取り組みの成果や課題についての発表、企業からの講演、情報交換等が活発に行われた。



写真2 生徒研究発表の様子

1日目 8月22日（月）

### 1. 開会式

#### (1) 会長挨拶

全国専門学科「情報科」高等学校長会会長  
千葉県立柏の葉高等学校長 柴田 淳

#### (2) 実行委員長挨拶

太田市立商業高等学校長 天田比呂志

#### (3) 来賓挨拶

太田市教育委員会 教育長 岡田孝夫  
文部科学省初等中等教育局 永井克昇  
群馬県教育委員会事務局  
高校教育課長 小笠原祐治



写真1 開会式の様子

### 2. 研究協議会 I

#### (1) 生徒研究発表

『齋藤佑樹を生んだ！群馬県太田市の自然と  
「んまい食」を楽しもうツアー  
～私たち6人で30人に幸せを～』

太田市立商業高等学校

浅香 望 内山里咲 亀井里紗  
濱田美奈 門杉あや 星野菜々

太田市を全国にアピールしたいという課題研究の発表があった。高校生が主役となり地域をアピールし、商品化を目指す「観光甲子園」、大阪商業大学が主催する独自のビジネスアイデアを募集する「ビジネスアイデア甲子園」への応募から選考結果に至るまでの活動報告があった。

結果的に両コンテストとも良い結果は得られなかったが、この活動をとおしてビジネスの厳しさや、大変さを感じた。今後もあきらめず太田市をアピールする活動は継続していきたいとのことであった。

## (2) 全体研究発表

### ①『新指導要領の「情報コンテンツ実習」を意識した作品制作の指導について』

東京都立新宿山吹高等学校 梅沢 崇

新学習指導要領において新たに設置される科目「情報コンテンツ実習」では、単なる作品制作だけでなく、要求分析や企画・提案などのコンテンツ制作の流れについても学習することが求められている。新宿山吹高校では学校設定科目「情報コンテンツ」において、この内容を意識した指導を今年度から取り入れ、その実践内容が報告された。

### ②『本校ITシステム科の現状と課題について

—特色ある教育課程の編成を目指して—

沖縄県立美来工科高等学校 比嘉希和乃

美来工科高校ITシステム科は、設立して7年目を迎えた。同校は情報基盤が整備されつつある沖縄県において、新たなリーディング産業である情報通信産業で必要とされるネットワーク、システム開発、データベースに関する技術の習得を目指している。今回の発表では、資格試験の実績や部活動の状況、進路状況を報告するとともに、特色ある教育課程の編成に向けた本科の取り組みについて報告があった。

### ③『「シスコ・ネットワーキングアカデミー」の導入効果について』

秋田県立仁賀保高等学校 早藤素史

仁賀保高校では、平成15年度の開科時からカリキュラムに特色を出すことを目的に、シスコ・ネットワーキングアカデミーを導入してきた。このカリキュラムを本格運用してから、今年で7年目となる。この機会に導入の経緯と効果、卒業生の進路、カリキュラムの編成、今後の課題等の報告がなされた。

## 3. 特別講演

### 『iPad in classroom』

アップルジャパンエデュケーション本部

昨年度から産業界との連携を意識しながらその



写真3 特別講演の様子

状況を考察するという観点から、今回アップルジャパンのエデュケーション本部より講師の先生をお招きし、『iPad in classroom』と題し、iPadを学校で導入する場合の使い方とアプリケーションソフトの利用方法、内容等が紹介された。iPad 2が参加者1人に1台用意され、説明を聞きながら、それぞれが興味深そうに操作していた。

2日目 8月23日(火)

## 4. 研究協議会Ⅱ

### ④『玉野光南高等学校情報科で取り組んでいること—それぞれのタイプで、それぞれの夢を—』

岡山県立玉野光南高等学校 久松慎治

玉野光南高校の情報科は、情報社会で活躍できる人材の育成を目指し、ハイレベルな資格取得、単位制にもとづいた主体的な学習、大学などとの連携という3つの特色ある取り組みをしている。

学習内容については、情報システムの設計やネットワークの構築・運用などに関する学習をするシステムタイプ、事務系プログラミング、簿記会計との関連など、ビジネス現場での活用を学習するビジネスタイプと、コンピュータによる図形と画像及び音声等の処理技法に関する知識と技術を学習するマルチメディア分野やハードウェア、技術系プログラミングに関する科目も選択科目として学習できる。

生徒一人一人がそれぞれの希望する分野で、自分の夢を叶えるためのカリキュラムを積み上げ、それぞれのタイプに応じた資格検定を取得し、実績を活かして国公立大学理系、文系、私立大学理

系、文系、専門学校への進学、あるいは就職に対応しているとの報告があった。

#### ⑤『三重県教育ビジョンにみる情報教育と本校導入事例について

##### ～Android端末と42インチモニター～

三重県立亀山高等学校 古儀 豊

三重県では以前、「三重県教育振興ビジョン」が策定されていたが、「地域別懇談会」や「こども会議」、「パブリックコメント」など県民主体のビジョンとして、また県民総参加で教育に向きあうことができるようにとの理念で今年度新たに「三重県教育ビジョン」が策定された。これを受け亀山高校では「モバイル機器の活用」と「先進事例の普及」のため、タブレットPCとインフォメーションディスプレイ（42型ワイド液晶モニター）を導入した。運用に当たり環境整備を進める中で、タブレットPCはインターネットへの接続が制限されたりアプリケーションがインストールできないとの課題が発生したが、現在はそれも解消し、今後は「電子教科書」「クリッカーとしての利用」「アプリ開発」などを検討しているとの実践例が紹介された。

#### ⑥『柏の葉高等学校の情報理科の取組

##### ～高大連携の活用～

千葉県立柏の葉高等学校 滑川敬章

柏の葉高校の情報理科の授業や放課後の課外活動等で、大学や企業との連携をどのように活用しているか、その取組の様子や成果について事例を紹介しながらの報告があった。また、それらの活動を発端とした課題研究等の授業での発展についても紹介された。

#### ⑦『資格取得の取組状況について』

京都府立京都すばる高等学校 尾上委理

京都すばる高校の情報学科では、設置以来、資格取得を学科目標の1つに掲げて専門科目の学習を進めてきた。今回は、ここ数年の資格取得に向けての取組や現状について報告された。

#### ⑧『情報機器の更新について』

鳥取県立倉吉総合産業高等学校 神田電馬

倉吉総合産業高校では、昨年度まで、実習教室としてPC30台の部屋が3部屋あった。しかし、リース契約終了のため更新することになり、その経緯から仕様書の作成、機器の選定、導入後の課題等が報告された。

#### 5. 記念講演

##### 『新学習指導要領への滑らかな移行に向けて』

文部科学省初等中等教育局

視学官 永井克昇

平成25年度からの新学習指導要領の全面実施に向けて、その趣旨と体系的な理解、教育課程の見直し、生徒の実態理解と指導内容・方法の改善、評価について、という4つの観点から具体的な目標、指導方法について丁寧に説明があった。

また、専門学科「情報科」を設置するに当たり抱える課題等もまとめられ、同時に報告された。

#### 6. 閉会式

##### (1) 会長挨拶

全国専門学科「情報科」高等学校長会会長

千葉県立柏の葉高等学校長 柴田 淳

##### (2) 実行委員長挨拶

太田市立商業高等学校長 天田比呂志

##### (3) 次回開催校挨拶

岡山県立玉野光南高等学校長 奥山貴之

2日間、さまざまな発表を聞くことができ、有意義な研究協議会が開催できたと思います。また、新学習指導要領実施に向け参考になる事柄も多かったことと思います。

最後に夏季休業の終盤、残暑厳しい中、本協議会に参加していただいた方々、ご協力をいただいた方々に感謝申し上げたいと思います。ありがとうございました。